



加賀市議会だより VOL. 80

こんにちは 議会 です。

..... 令和7年(2025年)12月1日

特集

議員紹介

2・3・4ページをご覧ください。

ピックアップ

市道A第437号線グリーンベルト設置事業

木造住宅耐震改修促進事業

詳しくは6ページをご覧ください。

報告

中学生議会実施報告

14・15ページをご覧ください。

加賀市議会
Instagram



加賀市議会
Facebook



マチイロ



届け! 私たちの声

議会活性化特別委員会広報部員が取材した
市内で頑張る団体の声を紹介します。



クラブ活動は、児童の「やってみたい」「やりたい」という思いを実現する場の一つです。



異学年交流が始まって、3年目。学年にとらわれず、学習したり、活動したりしています。全校で遊んだり、「SHOW TIME」で特技を披露したりなど、楽しみと驚きがいっぱいです。



～異学年交流～

今年度は
「野菜クラブ」を
立ち上げました。

～地域と共に～

いつもお世話になっている畑の
先生(裏谷さん)と共に、夏野菜を
植える準備をしています。



誰とでも・いつでも・何度でも。

ここはBGルームです。机を自分スタイル
で設置したり、時には寝転がったりなど
使い方は自分次第。

長休みや宿休みには、
ボードゲームをしたり、
読書をしたり
ほっとする空間です。



～自分らしく～

●運動場や公園に遊具やジップライン(※)
があるといいな。

●フリースペースがある図書館が
近くにあるといいな。

●体育館に冷暖房設備がほしいな。

●学校の図書室を広くしてほしいな。

(※)ジップライン: ワイヤーロープに滑車をかけて、
滑り降りる遊具



議会Youtube
チャンネルは
コチラ!



加賀市議会 第14代議長・第15代副議長



①スポーツ、読書
②全ての加賀市民の皆さまが輝くよう、多様化する地方行政に一生懸命全力で取り組みます。

山口 忠志 (64)

無会派／6期／湖城町

議長



①映画鑑賞、読書、ゴルフ、ロードバイク
②自治体、議会を取り巻く環境は大きく変わっています。その変化に対応する議会を目指します。

中川 敬雄 (60)

昂志会／3期／作見町

副議長

氏名／年齢（令和7年12月1日現在）／会派／当選回数／住所／①趣味・特技／②議員のひとこと

議長就任にあたって

第14代加賀市議会議長 山口 忠志

このたび、議員の皆様方のご推挙により、第14代の加賀市議会議長という要職に就かせていただきました。心より感謝申し上げます。

合併20周年、そして昭和100年という節目の年に就任したことについて、特別な縁を感じております。

この先も、未来永劫にわたり、全ての市民が幸せに暮らすことができる社会の実現が、私に課せられた任務の一つであると考えると、身が引き締まる思いです。

議会としましても、山田新市長のもとで展開される様々な施策について、妥協のない議論を重ね、市民のために積極的に提言していく姿勢が大切であると考えており、そのための最大限の努力をしてまいります。

ふるさと加賀市の明るい未来に向けて、責務を全うしていくことをここにお誓い申し上げるとともに、今後ともより一層のご支援と、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

10月
令和7年
30日

各委員会の新しい委員が決まりました

議会運営委員会

◎稻垣 清也 ○南出 貞子
若林 高 上田 朋和
中谷 喜英 林 直史
林 茂信

◎は委員長 ○は副委員長

※総務経済委員会、教育民生委員会は3ページ以降で紹介しています。

予算決算委員会

◎林 直史	○上田 朋和
植木 陽祐	高橋 菜見子
福永 哲也	上野 清隆
若林 高	荒谷 啓一
一色 真一	東野 真樹
中川 敬雄	南出 貞子
辰川 志郎	稻垣 清也
中谷 喜英	林 茂信
林 俊昭	

基地対策特別委員会

◎林 茂信 ○稻垣 清也
植木 陽祐 福永 哲也
荒谷 啓一 辰川 志郎

議会活性化特別委員会

◎中川 敬雄 ○荒谷 啓一
植木 陽祐 高橋 菜見子
福永 哲也 上野 清隆
若林 高 一色 真一

新体制になりました

ひがしの まさき
東野 真樹 (51)
昂志会／3期／合河町

①ゴルフ、イベント参加
②委員長として、活発な議論を交わせる委員会運営に全力で取り組みます。

うえの きよたか
上野 清隆 (51)
ピリーブ加賀／2期／大聖寺耳聞山町

①映画館で映画を観る、サッカー
②つながり、出会い、対話を大切に、2期目も全力で挑みます。

うえの ようすけ
植木 陽祐 (35)
無会派／1期／片山津町

①花火師、サーフィン
②お一人お一人の声を聞くこと、そしてそれを形にしていくことにとことん向き合っていきます。

いつしき しんいち
一色 真一 (75)
無会派／2期／一白町

①音楽鑑賞(世界中のあらゆる音楽)、ドライブ
②「国民の苦難軽減」の精神で、市民の命と暮らしを守る議員を目指します。

うえだ ともかず
上田 朋和 (46)
昂志会／4期／吉崎町

①バドミントン、ゴルフ、ランニング
②未来を見据え、誰もが安心して暮らせるまち、挑戦するまちを目指して頑張っていきます。

たつかわ しろう
辰川 志郎 (76)
つなぐ加賀／4期／大聖寺岡町

①山歩き、陸上競技
②加賀市の未来のため健全な青少年の育成、健康な高齢者の体力維持、向上に努めます。

いながき せいや
稻垣 清也 (54)
昂志会／5期／片山津温泉

①スキー、ゴルフ、家庭菜園、サウナ
②心豊かに暮らし続けられるような加賀市を目指して頑張ります。

なかや きよひで
中谷 喜英 (69)
昂志会／5期／須谷町

①ジャズとブルースを聞くこと、歴史を学ぶこと
②加賀を強く、誇りと希望のあふれる故郷づくりを目指して頑張っていきたいと思います。

はやし としあき
林 俊昭 (76)
つなぐ加賀／6期／富塚町

①読書、料理、旅行
②行政の方針などに時には反対し、時には賛成していく。これからも言いたいことを言って、やるべきことをやるという姿勢を崩さないで役割を果たしていく。

氏名／年齢（令和7年12月1日現在）／会派／当選回数／住所
①趣味・特技／②議員のひとこと

総務経済常任委員会

所管 市税、財政、総合計画、デジタル化、観光、企業立地、環境衛生、農林水産業、道路・橋梁、水道などについて調査・研究します。
総務部、政策企画部、イノベーション推進部、産業振興部、建設部、上下水道部、議会事務局、監査委員事務局、消防、財産区



教育民生常任委員会



みなみで さだこ
南出貞子 (76) 委員長
ビリーブ加賀／3期／丸山町

- ①スポーツ観戦、映画鑑賞
- ②皆さまのお声を大切に、女性の視点、観点も取り入れ、加賀市のために一生懸命行動し、頑張ります。



あらたに けいいち
荒谷啓一 (65) 副委員長
昂志会／2期／山中温泉河鹿町

- ①ソフトボール、表彰状筆耕(書道師範)
- ②初当選から4年が経過し、また心新たに多くの提言とその実現に向け、努めてまいります。



たかはし なみこ
高橋菜見子 (41)
無会派／1期／桑原町

- ①読書、楽器演奏
- ②寄り添う心と誠実さを忘れず、当事者の視点からより良い未来を目指します。



ふくなが てつや
福永哲也 (57)
昂志会／1期／山代温泉桜町

- ①映画鑑賞、バイク、動画映像編集
- ②初心を忘れず、市民福祉の向上や地域の課題解決に取り組み、必要な施策を提案していきます。



わかばやし こう
若林一高 (52)
つなぐ加賀／2期／河南町

- ①スポーツ全般、服、アウトドア全般、バイク、動物保護
- ②地域共生社会があたりまえの加賀市へ「市政に無関心な人はいても市政と無関係な人はいない」を念頭に市民のための市政を目指します。



なかがわ たかお
中川敬雄 (60) 副議長
昂志会／3期／作見町

- ①映画鑑賞、読書、ゴルフ、ロードバイク
- ②自治体、議会を取り巻く環境は大きく変わっています。その変化に対応する議会を目指します。



はやし なおみ
林直史 (61)
昂志会／6期／若葉台

- ①ウォーキング、スポーツ観戦など
- ②市民の皆さまの「小さな声」に耳を傾け市政に反映できるよう精一杯頑張ります。

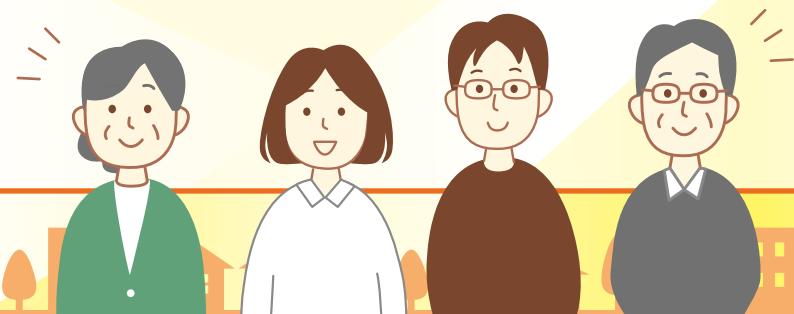


はやし しげのぶ
林茂信 (76)
ビリーブ加賀／5期／黒瀬町

- ①空手道、読書、スポーツ観戦など
- ②未来型商業地整備を起点とし、魅力ある、活気ある加賀市となるようまい進します。

所管 社会福祉、健康福祉、教育、医療などについて調査・研究します。
市民健康部、教育委員会、病院管理部

氏名／年齢（令和7年12月1日現在）／会派／当選回数／住所／①趣味・特技／②議員のひとこと



令和7年9月定例会の概要

会期●8月18日(月)
～9月3日(水)

令和7年9月定例会で審議した市長提出議案17件について、全議案とも原案どおり承認・可決・認定・同意されました。

市長提出議案

- 報告案件 1件
- 予算案件(令和7年度補正予算) 6件
- 条例案件 2件
- その他案件 7件
- 人事案件 1件



※各議案については、加賀市議会ホームページをご覧ください。
※賛否が分かれた議案の議決結果は、16ページの「議決一覧」をご覧ください。

加賀市議会ホームページ
<https://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/index.html>



令和7年10月臨時会報告

会期●10月30日(木)

令和7年10月臨時会で審議した市長提出議案10件について、全議案とも原案どおり同意されました。

市長提出議案

- ### 人事案件10件
- 教育委員会委員の任命
 - 監査委員の選任
 - 公平委員会委員の選任
 - 加賀山中温泉財産区管理委員の選任

※各議案については、加賀市議会ホームページをご覧ください。



▲議長挨拶



▲副議長挨拶

質疑・一般質問

市政を問う。Q&A



8月27日、28日2日間にわたり、12人が質問しました。

個人質問

一色 真一 議員 P 7
 山口 忠志 議員 P 7
 東野 真樹 議員 P 7
 林 俊昭 議員 P 8

若林 高 議員 P 8
 中川 敬雄 議員 P 8
 上野 清隆 議員 P 9
 南出 貞子 議員 P 9

荒谷 啓一 議員 P 9
 林 茂信 議員 P 10
 川下 勉 議員 P 10
 辰川 志郎 議員 P 10

ここで紹介している質問・答弁は、それぞれの内容を要約したものです。

詳しくは、令和7年12月末ごろ図書館に配置する会議録をご覧ください。

会議録は、議会ホームページから閲覧できます。

また、当日の質疑・一般質問の映像は加賀市議会YouTubeチャンネルから視聴できます。

- ・議会ホームページ <http://www.city.kaga.ishikawa.jp/gikai/gikai.html>
- ・議会Youtubeチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCtRm_TmFaD_OAu3BHZTETOQ



ピック
アップ!

市道A第437号線グリーンベルト設置事業 [事業費500万円]

錦城中学校の通学路である市道A第437号線において、通学路交通安全プログラムに基づき、路側帯にグリーンベルトを設置する。路側帯を緑色に着色することで、ドライバーへ視覚的に通学路であることを認識させ、車両の速度抑制や歩行者との接触事故を防ぐ。



グリーンベルト設置イメージ

木造住宅耐震改修促進事業 [事業費1,720万円]

昭和56年以前に建築された建築物は耐震性が低いものが多く、大きな地震が発生した場合、倒壊等が起こる可能性が高い。これらの建物の倒壊等による人命に関わる被害を軽減又は防止する観点から耐震改修が必要であり、その耐震診断、補強計画、耐震工事に対して補助を行い、市内の耐震化を促進する。

今回の補正では、県の制度拡充に伴う補助額上乗せ分と利用者の増加に伴う不足分を増額する。

木造住宅耐震化
促進事業
(これまで実施)

- 耐震診断補助 (8万5千円/件)
- 耐震設計補助 (20万円/件)
- 耐震改修工事補助 (200万円/件)
- アクションプログラムによる耐震化支援
 - ・戸別訪問
 - ・耐震相談会の開催
 - ・助成制度DM事業

新規拡充内容

- 耐震改修工事補助額を30万円上乗せ (上限230万円/件)
- 令和6年能登半島地震で被災住宅において、耐震診断後、耐震性がない場合、建て替えでも耐震改修工事費相当分を補助 (昭和56年6月以降建築の住宅も可)

他の
質問物価高騰から市民の暮らしを守る対策
ほか議員の
ひとこと
私の6月定例会の質問や指摘が生かされていないのは残念だ。1日分の備蓄品では不安だ。3~4日分が必要だ。

防災教育のため学校給食で活用するなど、ロスを少なくする対策を考えている。(総務部長)



備蓄品のロスを防ぎつつ、十分な品数を用意することは必要だと考えるが所見を問う。

答

今定例会で予算計上した備蓄品は、発災初日

に避難所で必要となる、水、食料、携帯トイレなどである。2日目、3日目の分については来年度予算で必要数を確保する計画である。

また、賞味期限が定められている水や食料品については、入れ替える量を計画的に確保している。(総務部長)

防災教育のため学校給食で活用するなど、ロスを少なくする対策を考えている。(総務部長)

私は6月定例会の質問や指摘が生かされていないのは残念だ。1日分の備蓄品では不安だ。3~4日分が必要だ。

他の
質問令和6年度財政指標、山中温泉ぬくもり
診療所議員の
ひとこと
ふるさと納税で「加賀市ファン」を増やそう!

引き続き、本市を応援する寄附を多くの方々から受けられるよう事業者や生産者との連携を図りながら、取り組みを進めていく。(政策企画部長)

私の6月定例会の質問や指摘が生かされていないのは残念だ。1日分の備蓄品では不安だ。3~4日分が必要だ。

他の
質問乗合タクシー実証運行事業
ほか議員の
ひとこと
市民からは協定を結んだ効果や費用についてよく聞かれる。市当局には分かりやすい説明を求める。

個人質問

災害用備蓄品購入事業はこれでいいのか?



一色 眞一 議員

個人質問

ふるさと納税寄附額アップの取り組みを!



山口 忠志 議員

個人質問

連携協定を結ぶ意味とは何か?



東野 真樹 議員

災害用備蓄品購入事業は、県が見直した地震被害想定から見ても、令和6年能登半島地震を踏まえて政府が出している方向性から見ても過少である。加賀市でもせめて7日分、孤立が想定される集落ではさらに多い日数分の備蓄が必要ではないか。

また、流通ローリングストックを取り入れて、

備蓄品のロスを防ぎつつ、十分な品数を用意することは必要だと考えるが所見を問う。

答

今定例会で予算計上した備蓄品は、発災初日

に避難所で必要となる、水、食料、携帯トイレなどである。2日目、3日目の分については来年度予算で必要数を確保する計画である。

また、賞味期限が定められている水や食料品については、入れ替える量を計画的に確保している。(総務部長)

付与が廃止となるため、9月中に駆け込みでふるさと納税が増えることが予想される。それに対応するべく魅力のある返礼品を提供し、寄附額の増大を図るべきであるが、寄附拡大に向けた戦略はあるのか尋ねる。

過去4年間で44件の連携協定を締結し、本市需要に対応するために、これまでの海産物に加え、3温泉における旅館・ホテルの宿泊券、米やブドウ、梨などの農産物、九谷焼・山中漆器などの伝統工芸品など、本市の多様な地場産品を返礼品として提供していただいている事業者・生産者や専門家と定期的にミーティングを重ね、密に連絡を取り合い、既存の返礼品の改良や新たな返礼品の開発に努めている。

なお、連携協定は、書面による連携事項の取り交わしであり、協定自体に費用は発生しない。それぞれの協定は地域課題の解決や人材育成、産業創出などに資するもので、全てに意義があると考えている。

効果として、金沢大学との連携では、高等教育機関の誘致によるにぎわいの創出や教育環境の充実、U-Start-up社などとの連携では、ライドシェア・A-オントマンド導入による公共交通の強化やそれに係る地域活性化に寄与する効果が挙げられる。今後も本市が持つ潜在能力を最大限に引き出せるよう、あらゆる企業や団体との連携を進めたい。(市長)



▲連携協定締結の様子

個人質問

林 はやし 俊昭 議員

小中学校規模適正化計画の
廃止と公共施設マネジメント
基本方針との整合性はどう
どうなるのか？

問 6月の教育民生委員会で、突然「加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）」の廃止が打ち出されたが、「加賀市公共施設マネジメント基本方針」とは相いれない内容ではないか。どのように整合性を図っていくのか示せ。

答

全国的に予想を上回る人口減少など、社会情

勢や教育環境の大きな変化の中、小規模校の良さを再評価したうえで、学級数や学校規模といった一律の基準で学校の存続・廃止を決めるることは適切ではないと判断した。

このため、概ね5年間を日途に、小規模校における創意工夫による教育の質を重視したさまざま取り組みについて、その効果などを共有・発信し、学校運営上の困難の解消に向けた検証・検討を進めた。

「加賀市公共施設マネジメント基本方針」との整合性については、「加賀市学校施設長寿命化計画」を改訂することでの整合性を図りたい。（教育長）



他の質問
デジタル田園健康特区の進捗状況 ほか

ついこの間まで、小規模校や複式学級の弊害を訴えていたはず。加賀市の財政状況では、小規模校を維持するのは困難ではないか。

個人質問

若林 わかばやし こう 高 議員

点字ブロックに
消雪装置があるのは
どうなつか？

問 山中総合福祉センター前の道路に設置された点字ブロック上に消雪装置が設置されているが、くぼみで足を取られたり、消雪装置の水が足にかかるたり、歩行に支障があるのではないかと考えるが、今後改修する予定はあるのか問う。

答

山中総合福祉センター前の消雪装置については昨年度より更新工事を行い、今年度は舗装の復旧工事を完了した。舗装復旧にあたり、点字ブロックを既存位置に復旧する必要があったが、コンクリート製部品を使用したた

め、散水ノズルの位置が変わった。散水ノズルは、通常散水せず、歩行者の通行に支障がないよう配慮する。また、この配置による散水能力の低下はない。（建設部長）



▲点字ブロックと消雪装置

他の質問
加賀市の災害対策、加賀温泉駅全天候型広場施設、拠点備蓄倉庫整備事業、屋内プール整備事業 ほか

山中温泉地区に住む白杖をお使いの当事者の方に直接意見をお聞きし、不備などの意見があれば市当局に伝えたい。

個人質問

中川 なかがわ 敬雄 議員

自治体病院が赤字なのは
国家的な大問題である！

問 医療センターは今どのような状況なのか

答 病院の最大の収入である診療報酬は国が定めており、増大する人件費、薬品費等は価格転嫁であります。経営努力だけでは改善が難しい。調査では、本市と同規模の自治体病院の96%が赤字であり、適切な改定がない限り収支改善は困難である。

体制は、当直の非常勤医師を合わせ60人規模であり、救急患者を断らない体制を維持している。小児科では8月から常勤2名体制、産婦人科は常勤2名体制で、年度内にさらに1名増える見込みである。また基幹型臨床研修病院であるため、研修を希望する全国の学生から毎年応募があり、本年も3名の枠に対し、10名の応募があった。今後も開院からの理念を忘れず、市民の命を守る救急医療体制を堅持し、地域医療を支えていく。（病院事業管理者）



▲加賀市医療センター

他の質問
物価高騰対応水道料金基本料金免除事業ほか

加賀市医療センターの職員の皆さんの涙ぐましい努力には頭が下がる。私はこの病院を誇りに思う。

若年女性の相談窓口
ありますよ!

上野 清隆 議員

「萬松園あいうえおの杜」
付近の環境整備を早く!!

南出 貞子 議員

「山中うるし座」を職人の
インキュベート施設に!

荒谷 啓一 議員

問 若年女性が安心して相談できる窓口や支援体制の整備などについて、当局の現状認識と今後の展望を示せ。

答 若年女性に関する相談先や支援に係る部署が複数課にまたがり分かりづらい状況を踏まえ、加賀市では18歳以上の若年女性を対象に、生活困窮や暴力などの悩みに対応する相談窓口を別館1階、相談支援課に設置した。また、公的窓口や、家庭や学校職場以外の身近な地域で相談できる場所や安心できる居場所も必要と考えている。令和6年度には、「身近な相談者育成事業」を行ない、市内の美容室を対象に研修を実施した。今後も本活動の継続に対して、フォローアップなどの応援をしていく。また、周知を積極的に行い、若年女性が直面する困難な課題に対応できるよう、民間支援団体や関係機関との連携を強化するなど支援体制の充実を図っていく。(市民健康部長)



議員の
ひとこと
若年女性の範囲は柔軟に!

大聖寺城跡保存活用等事業、医療的ケア児等レスパイト支援事業の利用実績の課題と改善 ほか

問 令和7年8月30日開園の「萬松園あいうえおの杜」の付近については、「これまで何度も環境整備を訴えてきた。

答 「萬松園あいうえおの杜」の近くに廃業旅館がある状態で、憩いの場、癒しの場として活用できるのか改めて所見を問う。

不法投棄の問題を抱えている。令和6年9月に提出のあった山代温泉まちづくり推進協議会からの要望と令和6年9月定例会の南出議員からの質問に対し、廃業旅館の解体撤去に取り組むことを申し上げた。現在は、廃業旅館の取得に向けて整理を進めるとともに、建物が急斜面に建てられていることから、解体工法の検討も進めている。跡地については、眺望デッキの整備やにぎわい創出の新たな活用策について検討を深めたい。(市長)



▲萬松園あいうえおの杜

議員の
ひとこと
開湯1300年にふさわしい「萬松園」あいうえおの杜」がオープン!より一層のにぎわい創出のため、環境整備に向けた働きかけを続けます。

大聖寺城跡保存活用等事業、医療的ケア児等レスパイト支援事業の利用実績の課題と改善 ほか

廃業旅館「西鶴苑」、災害用備蓄品購入事業、拠点備蓄倉庫整備事業 ほか

問 山中漆器業界から「空き工房や市の遊休施設などを活用し、産地の生産力低下を防ぐため、新規従事者やリタイア経験者が共に『働く場所』の設置支援」について提案されている。

答 実業を学ぶインキュベート施設(※)に対する所見を問う。
(※)インキュベート施設：設立して間もない企業や、起業家を支援・育成する施設

問 山中漆器連合協同組合から本提案をいたしました。後継者問題は大変重要な問題と位置付け、市としても必要な支援を行いたいと考え、そのため組合が中心となつて具体的な方法やスキーム(※)の検討をお願いし、了解をいただいた。今後も業界と協議し、山中漆器の生産力維持と高付加価値化や産業強化に取り組みたい。(市長)

(※)スキーム：目的を達成するための具体的な方法、枠組み



▲山中漆器伝統産業会館(山中うるし座)

議員の
ひとこと
業界と市が互いにアイデアを出し、検討・協議を重ねていただきたい!

橋梁長寿命化対策事業、令和6年能登半島地震による各地区会館の修繕、有書鳥獣警戒体制整備事業、旧北國銀行山中支店の位置づけに対する認識 ほか

個人質問

ふるさと納税額を増やす取り組みを！



林 茂信 議員

議員のこと
ひとこと
でいただきたい！
財源確保のため、市を挙げて取り組ん

他の質問
ほか
防災行政無線の有効活用、空き家対策

問 ふるさと納税に係る収入の状況及び見込みを示せ。また、ふるさと納税額のさらなるアップを見据えた体制強化について問う。

答 昨年度の加賀市のふるさと納税を活用した寄附額は、一昨年度と比較して約2倍となる過去最高の約10億円であった。

本年度7月末現在での実績は昨年度と比較して約2.2倍の1億4,400万円の寄附をいただいている。各ふるさと納税サイトのポイント廃止による駆け込み需要が発生する9月及び寄附が集中する12月の前の状況で、収入予算額12億円達成については判断できないが、昨年同時期と比較し、好調を維持している。

また、ふるさと納税額のさらなるアップを見据えた体制強化については、職員5名が担当しており、昨年10月からは返礼品開発をサポートしている中間事業者2名に加賀市に常駐いただき、体制強化を図っている。(市長)



▲動橋大橋(工事中)

個人質問

動橋大橋の欄干のデザインは？



川下 勉 議員

議員のこと
ひとこと
しつかりと県と協議しながら進めてほしい。

他の質問
ほか
令和6年度決算、バランスのとれた政策の推進 ほか

問 動橋川河川改修事業計画と動橋大橋の欄干のデザインについて示せ。

答 県が進めている河川改修事業について、令和6年度は毛合橋上流左岸の護岸工事を実施し、動橋大橋では左岸橋台に続き橋脚が完成した。令和7年度は、動橋大橋下流左岸の掘削・護岸工事、毛合橋右岸側では橋台・橋脚を撤去する予定である。

令和8年度は動橋大橋上流右岸の用地交渉と橋台工事に着手予定で、完成時期は未定と聞いている。動橋大橋の欄干のデザインについては、動橋町は歴史ある町であることから、市としては、動橋大橋を地域の誇りを象徴するシンボルとして整備し、橋のデザインにも地域らしさを反映させるよう県と相談していく。今後は、地域と行政が一体となつたまちづくりを進めていく。(建設部長)

問 物価高騰の影響を受けている市民の生活支援のため、水道料金の基本料金を令和7年12月から令和8年2月までの3か月分免除することであるが、市民には減免制度の程度がイメージしにくいのではないか。どのように広報していく予定なのか示せ。

答 対象者への広報については「広報かがや」や「加賀市公式ライン」などを活用して周知を図っていきたい。また、11月の検針時に、事前のお知らせとして、対象世帯に検針票と合わせて案内文書を配布したいと考えている。(上下水道部長)



質問
ひとこと
基本料金3か月分では市民生活にはほとんど効果がないよう思う。この事業の全体事業費は1億5,460万円である。効果の程が分からず一方で、減少し続ける財政調整基金を財源とすることは疑問がある。

他の質問
工アモビリティ産業創出事業、橋梁長寿化対策事業、宝塚医療大学観光学部

常任委員会・予算決算委員会分科会の主な審査内容

8月29日・9月1日に2常任委員会・予算決算委員会2分科会が開かれ、それぞれに付託・分担された議案やその他の関連事項について審査しました。ここでは、その一部を紹介しています。

答 同じ時期の近隣市では0.09%から0.25%までである。当市では、倒産などにより税金の徴収が困難になつた大口の案件が2件あつたことから非常に高い率となつている。



問 議案第53号 令和6年度加賀市決算認定について、当市の不納欠損率1.68%が近隣他市と比較して、どのような状況であるのか。



答 補助額は最大で230万円、耐震設計に対する補助金を加えると250万円となり、事業費の大部分を充当することができるため、個人負担はわずかとなつている。

問 議案第45号 令和7年度加賀市一般会計補正予算において、木造住宅耐震改修促進事業について、補助制度の拡充と当初見込み件数を上回ることにより補正予算を計上したようであるが、一般住宅ではどれほどの個人負担が生じるのか。

総務経済委員会(分科会)

付託案件 5件
分担案件 6件

委員長 中川 敬雄
副委員長 荒谷 啓一
委員 一色 真一
中谷 喜英
林 直史
山口 忠志
林 茂信
川下 勉

答 令和6年度は市内施設3か所で、990万円の経費を按分した結果、330万円の決算額となつた。令和7年度は、市内利用施設が1か所増加し、4か所で按分したことにより、さらに他自治体でも利用が広がり、利用料自体が減額されたことによって、予算額が利用施設1か所あたり148万5,000円となつた。



問 議案第53号 令和6年度加賀市決算認定について、かがにこにこパークにおける顔認証システムの決算額が、なぜ令和7年度予算額と比較して高額であるのか。

答 本制度は、奨学金などのような貸与ではなく、学費の3分の2を補助金として助成するものであることから、居住要件による返還などの制限はない。加えて、卒業後、5年以上加賀市に居住した場合は、残額についても追加で助成するものである。

問 議案第45号 令和7年度加賀市一般会計補正予算において、S-IM(シンガポール経営学院)留学促進支援事業に関する利用者について、居住要件による返還など、制限はあるのか。

教育民生委員会(分科会)

付託案件 1件
分担案件 6件

委員長 南出 貞子
副委員長 上野 清隆
委員 若林 高
東野 真樹
上田 朋和
辰川 志郎
稻垣 清也
林 俊昭

総務経済 委員会

◎中川／○荒谷／一色／中谷／林(直)
山口／林(茂)／川下
◎委員長 ○副委員長

前任期は、近年、自治体運営において、ますます重要性を増している「指定管理者制度」をテーマとし、調査・研究を行ってきました。当局と意見交換会を行い、本市の指定管理者制度の現状について理解を深めました。また、行政視察では、指定管理者制度の事業報告書やモニタリング結果の公表を実施している福岡県久留米市及び北海道苫小牧市を視察しました。

今後、指定管理者制度の透明性、効率性、住民サービスの向上を図るために、事業報告書やモニタリング結果を公表し、制度の運用改善に努めることを、当局に対し働きかけていく必要があります。

※7月10日、8月7日、8月29日に委員会が、8月7日に委員協議会が開かれました。(7月10日の委員会は川下委員が欠席。そのほかの委員会および委員協議会は全ての委員が出席)

委員会 活動報告

加賀市議会では、いくつかの委員会を設けて、市長から提案された議案審査のほか、毎月会議を開催し、各委員会が定めたテーマの調査・研究を進めています。ここでは、前任期の各委員会の取り組みを紹介します。

教育民生 委員会

◎南出／○上野／若林／東野／上田／辰川／稻垣／林(俊) ◎委員長 ○副委員長

前任期は「高齢者施策(終活事業)について」をテーマとし、調査・研究を行ってきました。東京都豊島区、東京都文京区社会福祉協議会、神奈川県横須賀市への行政視察結果を中心に、本市で行っている「わたしの暮らし手帳の普及活動」や総合相談に加えて、「終活支援の現状分析」、「終活支援の将来予測・将来像」及び「本市で参考とするべき施策」についての分析などを行い、「加賀市における高齢者施策(終活事業)についての提言書」を市長に対し提出しました。

※7月11日、8月8日、9月1日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)

議会運営 委員会

◎中谷／○山口／稻垣／林(直)／林(茂)／川下 ◎委員長 ○副委員長

議会活性化特別委員会での協議結果、議事日程、提出議案の審査結果及び採決方法、12月定例会の日程、今後の議会運営委員会日程等、委員会からの提言、発言順位、委員会の審査結果、屋外での拡声器使用の自粛に関する申し合わせなどについて協議しました。

※7月18日、8月13日、8月18日、8月22日、9月3日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)



◎川下/○稻垣/南出/中谷/林(直)/山口 ◎委員長 ○副委員長

基地対策に関する調査・研究を行ってきました。今後も基地周辺自治体として、さらなる基地対策の充実に向け、当局や加賀市基地周辺整備協議会などと連携しながら、基地周辺住民に対する騒音や生活環境対策など、基地を取り巻く動向を注視し、安心・安全な市民生活の確保が図られるよう、継続して調査・研究していきます。

※7月18日に委員会が開かれました。(全ての委員が出席)



◎山口/○荒谷/若林/一色/南出/辰川/中谷/林(直) ◎委員長 ○副委員長

令和6年3月に延伸開業した北陸新幹線の持続的な開業効果を図るための取り組みについて、また、コロナ禍や令和6年能登半島地震の影響で落ち込んだ観光客の誘客に向けた取り組みについて、調査・研究を行ってきました。様々な面から現状や課題を分析し、将来を見据えた、より効果的な取り組みにつなげるよう当局に対し求めました。

※7月10日、8月7日に委員会が、7月10日に委員協議会が開かれました。(全ての委員が出席)



◎東野/○上野/中川/上田/稻垣/林(茂)/林(俊)/川下 ◎委員長 ○副委員長

スポーツ施策について、「施設整備・運営」、「教育・健康増進」、「人口減少対策・交流人口増大」の3点を主な協議課題とした調査・研究を行ってきました。スポーツが全ての市民にとって重要な役割を担うものであると考え、加賀市におけるスポーツ関連施策に関する調査・研究をおこない、課題とそれに対する対応を取りまとめ、「加賀市におけるスポーツ関連施策についての提言書」を市長に対し提出しました。

※7月11日、8月8日に委員会が開かれました。(7月11日の委員会は川下委員が欠席。そのほかの委員会は全ての委員が出席)



◎上田/○南出/上野/若林/荒谷/一色/東野/中川/山口 ◎委員長 ○副委員長

議会報告会、中学生議会、大聖寺実業高校との意見交換会のほか、議会アンケート調査の実施など、議会活性化の取り組みを進めてきました。「市民が参加する議会」を目指していることから、今後も市民に評価され、期待される議会を目指し、議会活性化に向けて新たな取り組みを積極的に進めていきます。

※7月10日、8月7日に委員会が開かれました。また、7月10日、8月22日に広報部会が開かれました。(委員会および広報部会には全ての委員が出席)

※委員のうち、広報部会は7名で構成されています。

中学生議会

山代中学校3年

西穂菜実議長
(議事・進行)

山代中学校3年

佐藤千聖議員

錦城中学校1年

山下谷空議員

山代中学校3年

西穂菜実議長
(議事・進行)

問 山代温泉を観光客でもっとにぎわう街にするために、「フリーWi-Fi」の設置を提案する。

8月5日に「中学生議会」を開催し、12人の中学生が議長と議員に分かれ、市政や学校生活などに対し、若い感性や視点から市当局に質問しました。

ここでは、質問・答弁を要約した内容を紹介します。なお、中学生議会の会議記録・会議映像は加賀市議会ホームページに掲載しています。

ご協力いただきました中学生議員の皆さん、各中学校の先生方ありがとうございました！

山代中学校3年

西穂菜実議長
(議事・進行)

山代中学校3年

佐藤千聖議員

錦城中学校1年

山下谷空議員

答 フリーWi-Fiはセキュリティの問題で定期的な機器の更新などが必須であり、多額の経費がかかることや、利用者の減少もあるため、費用対効果等から、Kaga Free Wi-Fiは今年度より廃止した。

しかし、議員が御提案されるように、SNSを活用し、地域のにぎわいにつなげることは大変効果的と考えている。今後も、インターネットの発達動向を注視して、観光地づくりに努めたい。（市長）

山代中学校3年

西穂菜実議長
(議事・進行)

山代中学校3年

佐藤千聖議員

錦城中学校1年

山下谷空議員

問 加賀市民全員に100万円を配ることは可能か。難しいのであれば、他の物価高対策の市の取り組みを示せ。

答 本市の人口は約6万人であり、単純計算で600億円が必要となるが、令和7年度の加賀市の一般会計当初予算（約417億円）をはるかに上回る額なため、現実的ではなく、不可能である。

当市の物価高対策としては、保育料や学校給食費の完全無償化など、独自の軽減策を実施している。今後も限られた財源の中で、支援策を検討していきたい。（市長）

その他の質問 通学路の危険性

山代中学校3年

西穂菜実議長
(議事・進行)

山代中学校3年

佐藤千聖議員

錦城中学校1年

山下谷空議員

東和中学校3年 出口裕陸議員



錦城中学校2年 寺前歩里議員



片山津中学校3年 伊勢谷柚葉議員



問 東和中学校の動橋作見間、動橋分校間の通学路には街灯が少ない地域がある。そこで、太陽光発電システムを利用した、下校時間帯だけ光る街灯を設置することはできないか。

答 議員御指摘の箇所は、街灯は設置されていないため、冬季の下校時は暗く、協議会でも合同点検箇所とされた。

また、現地には電柱がなく、太陽光発電と蓄電池、タイマーを組み合わせた街灯が必要になる。環境省の光害対策ガイドラインに基づき、良好な光環境と安心。安全な通行の確保に向け、設置できるか検討したい。

（教育長）

その他の質問

新しい観光資源「食べる九谷焼」で加賀市を発展させよう

橋立海青学園8年

西川 愛莉 議員

問 小学校3年生で実施するヒラメの放流体験が、私たちの学年はコロナ禍で体験できなかつた。この魚の放流授業は今後も継続できるとよいと思つてゐるが、市の考え方を示せ。

答 ヒラメ稚魚放流体験は石川県漁業協同組合加賀支所が実施している。子どもたちにとって大変貴重な体験になつてゐると考えており、今後とも県漁協において必要な取り組みが継続できるよう、また、その学びが一層深まるよう、学校に対し必要な支援を行つていく。(教育長)

その他の質問 ドローンのイベント



東和中学校3年

澤矢 直都 議員

問 加賀市内の全中学校でスポーツ大会や文化発表を行う、「加賀市エナジーフェスティバル」の開催を提案する。

答 スポーツや文化、地域の方々の力を通じて「加賀市をつくる」、このことは教育委員会としても非常に大切だと考えている。御提案の「加賀市エナジーフェスティバル」については、「KAGA STEAM Presentation」の取り組みをさらに発展させ、様々な学び合いが生まれるイベントとなるよう検討したい。(教育長)



片山津中学校3年

南 優駿 議員

問 未来型商業エリアを、単なるショッピングの場としてではなく若い世代が主役となつて活躍できるよう「学び・働き・楽しむ」が融合した複合型施設として整備すれば、加賀市は若者にとって住み続けたい、帰つてきたいと思えるまちになるのではと考えるが市の考え方を示せ。

答 未来型商業エリアが、地域全体の活性化と文化創造の場として、単なる買い物の場だけではなく、「学び・働き・楽しむ」場へと発展し、世代を超えて親しまれるエリアとして、市内外、そして県外からも選ばれる魅力ある施設になるよう取り組んでいきたい。(市長)



橋立海青学園8年

中島 実莉 議員

問 橋立地区では、毎年秋や冬になるとクマなどの出没が相次ぐ。書類の対策を行つていることは知つてゐるが、サルについての対策もしてもらえないか。



答 サルの出没は、クマやイノシシと比べて件数が少ないが、サルについても市で対策を行つてゐる。具体的な対策としては、市街地や住宅の敷地にとどまり続けるなどして周辺住民に被害が及ぶ可能性がある場合は、大きな音がする動物駆逐用煙火を使い、追い払いなどの対応を行うこととしている。(市長)

その他の質問 橋立自然公園の利用

問 毎年、こいこい祭や山中漆器祭の際、駐車場がなくうろうろしている観光客を多く見かける。個人所有の空き地などを駐車場として利用することについて市の考え方を示せ。

山中中学校3年

掛川 栄 議員



答 温泉地における駐車場の確保は、課題の一つである。御提案のようにイベント会場の近くに駐車場を提供できることはよい方法だと考えるが、小規模の駐車スペースに多くの車が来ることでの混雑が想定される。主催者である山中温泉の皆さんとも相談しながら、よりよい方法を検討したい。(市長)

その他の質問 ゆけむり健康村駐車場の有効活用

問 市内の路線バスの本数が少ない。バスの利用の少ない時間帯を調べ、その時間帯のバスを減らし、夕方から夜にかけての本数を増やすことは可能か。

山中中学校3年

木下 琦人 議員



答 時間帯ごとの本数を増減させるということは、現状以上にバスと運転手を増やす必要があり、コスト増と運転手確保の面から継続が難しい。現在、本市では乗合タクシーを運行しており、既存の路線バスではカバーしきれない時間帯や地域において、柔軟な移動手段として提供している。路線バスより容易に調整ができるため、利便性の向上を図りながら運行している。(市長)

その他の質問

議 | 決 | 一 | 覧 |

ここでは、賛否が分かれた議案を掲載しています。その他の議案は全会一致で承認・可決・認定・同意されました。全議案等の内容は、加賀市議会ホームページをご覧ください。



議案名		議決結果	昂志会							自民かがやき									
			林直史	中谷喜英	稻垣清也	上田朋和	中川敬雄	東野真樹	荒谷啓一	川下勉	林茂信	山口忠志	辰川志郎	南出貞子	上野清隆	林俊昭	一色眞一	若林高	今津和喜夫
予算案件 (2件)	令和7年度加賀市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	令和7年度加賀市水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例案件 (1件)	加賀市体育施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
その他 案件 (2件)	令和6年度加賀市決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	令和6年度加賀市水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成

×は反対

※議長 今津和喜夫は採決に加わりません。

12月 定例会のお知らせ

次の定例会は12月1日から12月18日までの18日間です。

- 12月1日(月)10:00～ 本会議 開会、市長提出議案説明
 11日(木)9:30～ 本会議 質疑・一般質問
 12日(金)9:30～ 本会議 質疑・一般質問、委員会付託
 15日(月)10:00～ 委員会 総務経済委員会(分科会)
 16日(火)10:00～ 委員会 教育民生委員会(分科会)
 18日(木)13:30～ 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

傍聴者・読者の声を募集します

議会を傍聴してのご意見や議会だよりを読んでのご感想を、議会だよりで紹介していきます。 皆さまからの多数の応募をお待ちしています。

応募方法 「氏名」と「連絡先」を記入し、見出しに「傍聴者・読者の声」と明記の上、下記の宛先まで応募ください。

※定例会・委員会の日程は、議会ホームページ、

広報かがに掲載しています。

※詳しくは議会事務局までご連絡ください。

あて先 〒922-8622 加賀市大聖寺南町二41
 TEL 0761-72-7965 FAX 0761-72-5305
 E-mail gikai@city.kaga.lg.jp



編集後記 雨・風・雷のゴングで始まった一般質問初日、終わる頃にはスッキリ青空。今任期も、あとわずか。あっという間の4年である。
 議会活性化特別委員会で何ができたのか?広報部会で何ができたのか?疑問が沢山残る。
 委員、部員、事務局でしっかりと対話をし、共有して、主体性を持ってやらないといけない。加賀市と加賀市議会の未来もスッキリ青空になることを願い、残り任期を全うし、
 来期を迎えるものだ。

K・U
 (令和7年9月執筆)

議会活性化特別委員会広報部会
 部長 ● 上野清隆
 副部長 ● 若林高
 部員 ● 荒谷啓一 一色眞一
 東野真樹 中川敬雄
 南出貞子

政治家の寄附行為は法律で禁止されています。 政治家の時候のあいさつ状・中元や歳暮・祭りや会合・各種大会への寄附などは、公職選挙法で禁止されています。有権者が求めていけません。市民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

点字・音訳版
 「加賀市議会だより」を
 知っていますか?

文字による情報を利用することが困難な人に、加賀市議会だよりの点字版・
 録音テープ版またはCD版を市内のボランティアの人たちが製作し、自宅へ
 郵送します。 お問い合わせ 社会福祉協議会 72-1500 (担当:吉倉)

本誌は、見やすく読み間違えのない
 ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

UD
 FONT